

彩づき薫る みどり、 秋風に舞う リズム

2022.
11.20 (sun) OPEN 11:00

<http://docosia.jp>



出演者

PAN NOTE MAGIC

スティールパンオーケストラ



アクセス

電車と徒歩

新京成線八柱駅南口 又は JR武蔵野線新八柱駅から、徒歩15分

電車とバス

新京成線八柱駅南口 又は JR武蔵野線新八柱駅から、バスで3分(新京成バスで「八柱駅」から、小金原団地循環又は新松戸駅行きの「森のホール21・公園中央口」で下車)

※JR常磐線緩行線の馬橋駅近く「馬橋駅入口」(常盤平駅北口行き)又は同線新松戸駅前「新松戸駅」(八柱駅行き)からも、新京成バスがご利用いただけます。下車する最寄りの停留所については、松戸市のホームページでご確認ください。

住所 松戸市千駄堀269番地 駐車場 あり(有料)



- 宮本 まいこ —— High Tenor Pan
- 木村 就生 —— Low Tenor Pan
- 山脇 妃見子 —— Double Tenor pan
- 小針 彩葉 —— Double Second Pan
- 夏音 —— 3Cello Pan
- 新崎 比奈子 —— Bass Pan
- 林 啓太 —— Drum

PAN NOTE MAGICは、スティールパンの魅力伝えるために、2005年に結成されたスティールパンオーケストラである。スティールパンはドラム缶から作られた楽器で、カリブ海に浮かぶ島国のトリニダード・トバゴ共和国で生まれた。その音色は、ドラム缶から作られたとは思えない美しさであり、世界で最も人の心を癒す音と言われている。メンバーは、日本クラシック音楽コンクールの最高位受賞者や打楽器協会が主催する新人演奏会の1位受賞者ならびに岩城賞受賞者、第17回イタリア打楽器コンクールの優勝者、ルーマニア国際コンクールの第2位受賞者、ベストプレイヤーズコンテストの第3位受賞者、世界スティールパンコンテストのソロ部門「International Pan Ramajay2020」の日本人初の第10位入賞者等の7名で構成されている。また、その音楽性は高い評価を得ている。

2008年に東京都のヘブナーアーティスト事業から、スティールパンのグループとしては唯一の認定を取得。同年に韓国ソウルにて演奏。2010年に韓国チェジュ島にて演奏。2011年に西日本打楽器協会主催の打楽器フェスティバルにて、ゲスト出演。2012年にアルバム「Magic Hour」でメジャーデビュー。2014年にスティールパン界のレジェンドRay Holman氏と共演。その際に、同氏より「PAN NOTE MAGICは日本とトリニダード・トバゴ共和国を結ぶ架け橋となるスティールパン大使である」と、最大の賛辞を受ける。日本のみならず海外での公演やテレビ出演も行っている。

PAN NOTE MAGICは、ラテンやポピュラー、クラシック、聞き馴染みのある曲等の演奏を幅広く行っているが、『パノラマ』*ミュージックの再現演奏がとて好評である。PAN NOTE MAGICは、2013年にトリニダード・トバゴ共和国で約40日にわたる演奏技術等の研鑽を積み、『パノラマ』に現地バンドの一員として参加している。またメンバーの中には、数年に渡って『パノラマ』に参加し、4度優勝した経験を持つ者もいる。本場の現地で修行を積んだメンバーによる『パノラマ』ミュージックの再現演奏は、世界三大カーニバルを想起させるものとして、PAN NOTE MAGICの一番の魅力になっている。

※『パノラマ』とは、トリニダード・トバゴ共和国で開催されている世界三大カーニバルの1つ「トリニダード・カーニバル」の目玉イベント「ナショナル・パノラマ・コンペティション」というスティールパンコンテストの略称である。